

小児眼科診療のお知らせ2

「色覚異常とは」

生まれつき色を見分けにくい先天色覚異常は決して珍しいものではありません。男の子 5%(20人に1人) 女の子 0.2%(500人に1人)と男の子には1クラスに1人程度います。

本人には自覚症状がありません、日常生活に不自由がないことがほとんどです。また色が全く分からないことはなく、色によって見分けにくいことがある程度です。しかし、状況によっては色を見誤って周囲から誤解を受けることや、色を使った授業の一部が理解しにくいことがあります自分自身の色の見え方を知っておくためにも検査は大切です。

当院では、数種類の検査方法を用いて色覚検査を行うことができます。小学校 4 年生の学校での検査で指摘された、就職に関連し検査が必要な場合などは受診をおすすめします。

